2023年3月期 決算説明 中期経営計画「Challenage2024 ローリングプラン2023」



CODE: 4275

目次



- 2023年3月期 決算概要
- 2024年3月期 通期見通し

取締役兼執行役員 谷内 俊文

■ 中期経営計画ローリングプラン

代表取締役兼社長執行役員 金子 洋文



2023年3月期 決算概要

決算概要 <連結損益計算書>



	2022年3月期 2023年3月期		差 異
(単位:百万円)	実績		
売 上 高	33,894	36,008	+2,114
	, , ,		+6.2%
	25,246	27,321	+2,075
75=::51 =1			+8.2%
販売費及び一般管理費	6,140	6,046	△94
別が見及り 別日任員	0,140		△1.5%
営業利益	2,506	2,640	+133
	2,500	2,040	+5.3%
経常利益	2,742	2,910	+168
小工口3人.九m	2,172	2,910	+6.1%
純 利 益	2,336	2,246	△89
ስታ ላጎ III	2,330	2,240	△3.8%

特別利益 投資有価証券売却益 424 特別損失 関係会社株式売却損 82

決算概要

<事業部門別実績>



		売 上 高		営業利益		
(単位:百万円)	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	差 異	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	差 異
化学品	16,950	17,896	+945	1,172	1,294	+121
ボトリング	4,360	4,774	+413	218	151	△66
産業用部材	9,313	9,741	+427	654	700	+46
エンジニアリング サービス	4,173	4,203	+29	892	651	△240
報告事業部門計	34,798	36,615	+1,816	2,937	2,798	△138
連結合計	33,894	36,008	+2,114	2,506	2,640	+133

決算概要

<利益の増減要因 ①>



【化学品事業部門】

産業用爆薬	7	不採算製造拠点撤退で減収、原材料価格・エネルギーコスト高騰で減益
自動車用緊急保安炎筒	71	新車向け増収。ガラス破壊具付き好調で車検交換向け増収 原材料価格の高騰で減益
高速道路用信号焔管	7	交通量回復と工事規制需要増加、適正価格維持で増益
煙火関連	7	花火大会の一部再開で増益
宇宙産業	_	固体推進薬開発を顧客と進行中 推進薬製造を行い、初号機打上げに向け射場へ納品完了
受託評価試験	7	電池開発活況継続で増収、一方電力価格の高騰で減益
塩素酸ナトリウム	7	適正価格の維持で増益
過塩素酸アンモニウム	7	原材料・エネルギー高騰影響あったがロケット推進薬向け増販で増益
過塩素酸	7	海外需要低迷で減益
電極関連	7	適正価格維持、新規メッキ用途受注で増益
電子材料関連	7	電気二重層キャパシタ用電解液は増収、 一方でPC需要下降、中国のロックダウン・電力制限で減益
機能材料関連	7	近赤外線吸収色素が認証センサー需要拡大で増収、 一方でスマホ・フラットパネルディスプレイ市場の不調で減益
セラミック材料	7	シェア拡大および新規拡販に加え、適正価格の維持で増益

決算概要

<利益の増減要因 ②>



【ボトリング事業部門】

ペットボトル飲料	> 需要回復に加え、新規製品の受注で増収。エネルギーコスト高騰で減益
缶飲料	> 自販機向けコーヒーの販売減で減益
委託品	カ 新規品の受注などで増益

【産業用部材事業部門】

シリコンウェーハ	7	中国のロックダウンによる需要減、エネルギーコスト高騰で減益
		高平坦度ウェーハを始めとする高付加価値製品の開発・販売に注力
耐熱炉内用金物	7	都市ごみ焼却向けアンカー、リテーナの販売好調で増益
各種金属スプリング・プレス品	7	建機向け需要の好調継続で増益

【エンジニアリングサービス事業部門】

建築•設備工事	7	収益性の高い案件が減少し、減益
塗料販売・塗装工事	7	市場環境の好調で増益
構造設計	7	市場の競争環境が激化傾向にあり、収益性の高い案件が減少し、減益



2024年3月期 通期見通し

<連結業績予想>



	(単位:百万円)	2023年3月期 実績	2024年3月期 予 想	差 異	増減率
+ L +	第2四半期	17,586	18,000	+414	+2.4%
売上高	通 期	36,008	38,000	+1,992	+5.5%
学 紫钊光	第2四半期	1,104	800	△304	△27.5%
営業利益	通 期	2,640	2,700	+60	+2.3%
∕∇₩∓II ₩	第2四半期	1,287	900	△387	△30.1%
経常利益	通 期	2,910	2,900	△10	△0.4%
当期純利益	第2四半期	951	750	△201	△21.1%
	通 期	2,246	2,300	+54	+2.4%
期末配当	1 株 当 たり	20円	20円		

※第2四半期は累計値

<連結・事業部門別> 通期見通し



事業ポートフォリオ経営にあわせ、 事業部門区分を変更。

売 上 高 営業利益 2023年3月期 2024年3月期 2024年3月期 2023年3月期 差 差 異 異 実 績 計画 計画 実 績 (単位:百万円) 化学品 21,500 1,500 20,036 +1,464 1,579 △79 4,800 ボトリング 4,774 +26 151 240 +89 7,300 金属加工 450 415 7,601 △301 +35 エンジニアリング 5,000 4,203 651 700 +797+49サービス 38,600 2,890 報告事業部門計 36,615 +1,985 2,798 +92連結合計 38,000 2,640 2,700 36,008 +1,992 +60

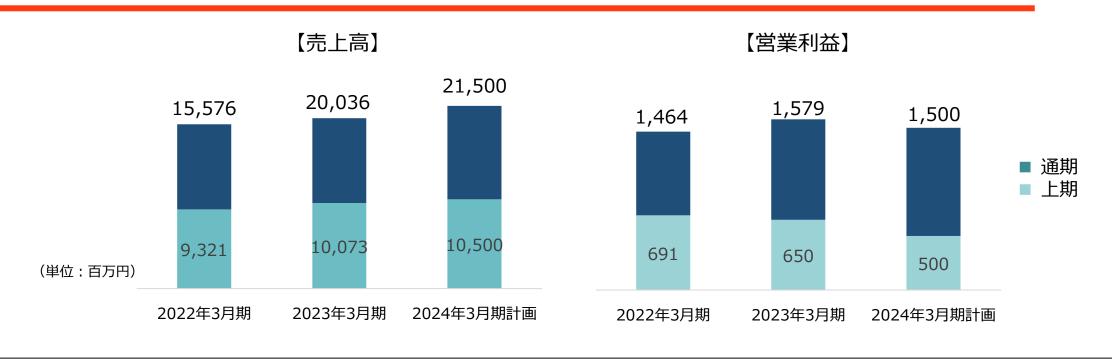
<連結・事業部門別(旧事業部門) > ♣ Carlit Holdings



		売 上 高		営業利益		
(単位:百万円)	2023年3月期 実績	2024年3月期計 画	差 異	2023年3月期 実績	2024年3月期 計 画	差 異
化学品	17,896	19,000	+1,104	1,294	1,300	+6
ボトリング	4,774	4,800	+26	151	240	+89
産業用部材	9,741	9,800	+59	700	650	△50
エンジニアリング サービス	4,203	5,000	+797	651	700	+49
報告事業部門計	36,615	38,600	+1,985	2,798	2,890	+92
連結合計	36,008	38,000	+1,992	2,640	2,700	+60

<化学品事業部門>





中国経済の影響から電子機器関連材料や半導体材料の需要の 落ち込みがある一方、日本国内の経済成長を受け、 自動車向け製品や基礎化学品関連の販売は堅調に推移する見通し

通期見通し <ボトリング事業部門>

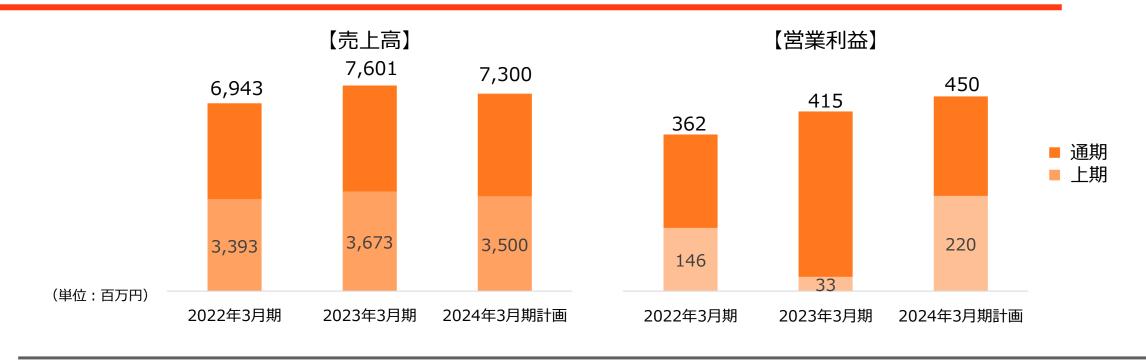




物価高や海外経済減速が下押し要因となるも、サービス消費、インバウンド需要回復によって国内飲料消費が増え、増収増益の見通し

<金属加工事業部門>



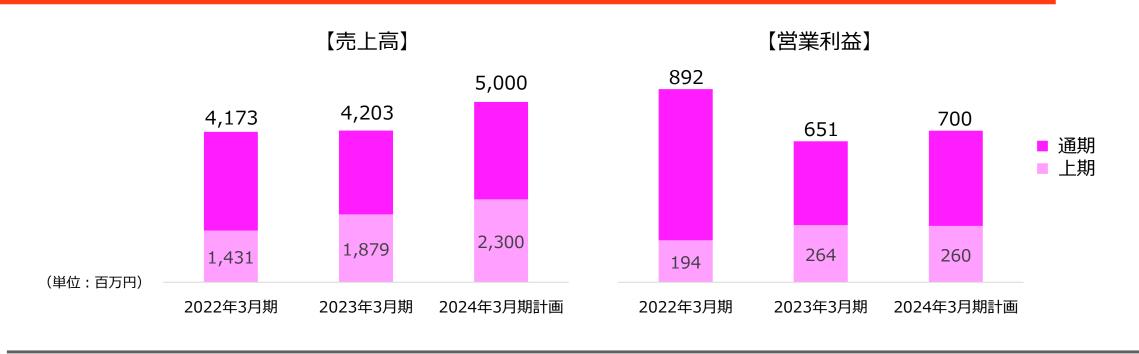


2023/3月期は自動車、建機、都市ごみ焼却向け等の需要が高く好調。

2024/3月期も、日本経済の動向にあわせ、堅調に推移する見通し

<エンジニアリングサービス事業部門>





2023/3月期と同様に競争環境の激化傾向が続くため、

利益率が下がるものの、日本経済の動向にあわせ、堅調に推移する見通し



中期経営計画 Challenge 2024

ローリングプラン 2023

経営環境の振り返り:環境変化



◆ 2022年~2023年に生じた外部環境変化

社会•経済環境

- ✓ COVID-19変異株による、国内外経済活動への影響長期化
- ✓ ロシアのウクライナ侵攻長期化による、世界情勢の不安定化

上場企業に対する要請

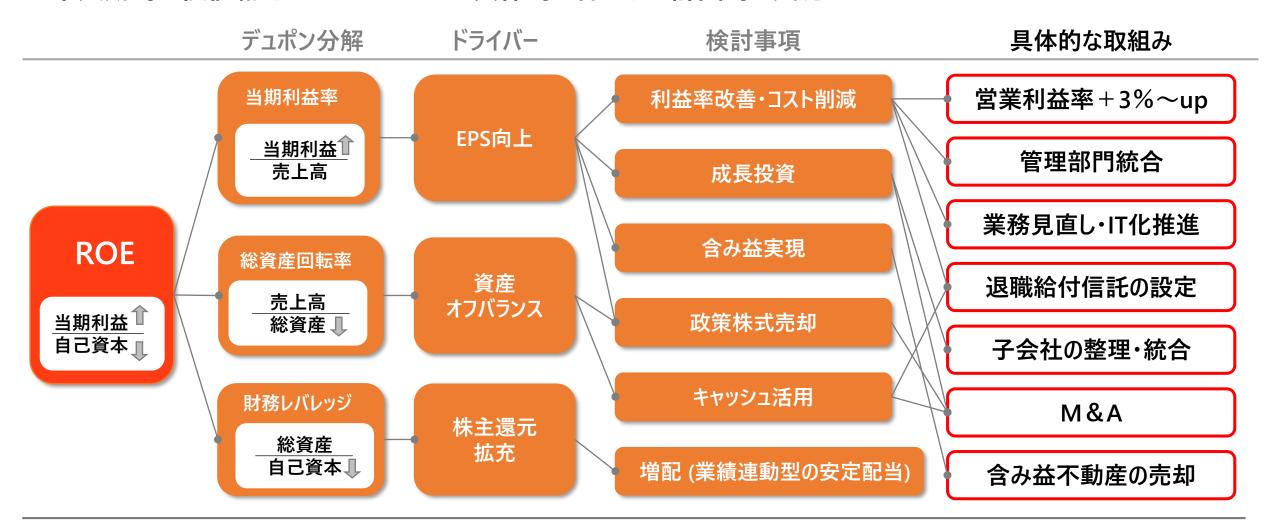
- ✓ PBR向上を目的とした、資本収益性や市場評価の改善要請
- ✓ 2030年SDGs達成に向けた取組み、ESG経営高度化

- 内外ともに激しい環境変化があり、当社事業にも大きな影響を及ぼした
- 「基盤強化」により、強いカーリットグループを目指すことに変わりはない

ROE向上に向けた考え方と取組み



- ◆ PBRを向上させるには、ROEを高めることが出発点かつ極めて重要
- ◆ 中長期的な価値創造ストーリーに基づき具体的な打ち手を計画的に実施



PER向上に向けた考え方と取組み



ターゲットIR

- ◆ PBRを向上させるには、利益成長の期待値とされるPERを高めることも重要
- ◆ PER向上には成長戦略の策定実行に加え、財務と非財務両面への取り組みを通じて資本コストを低減

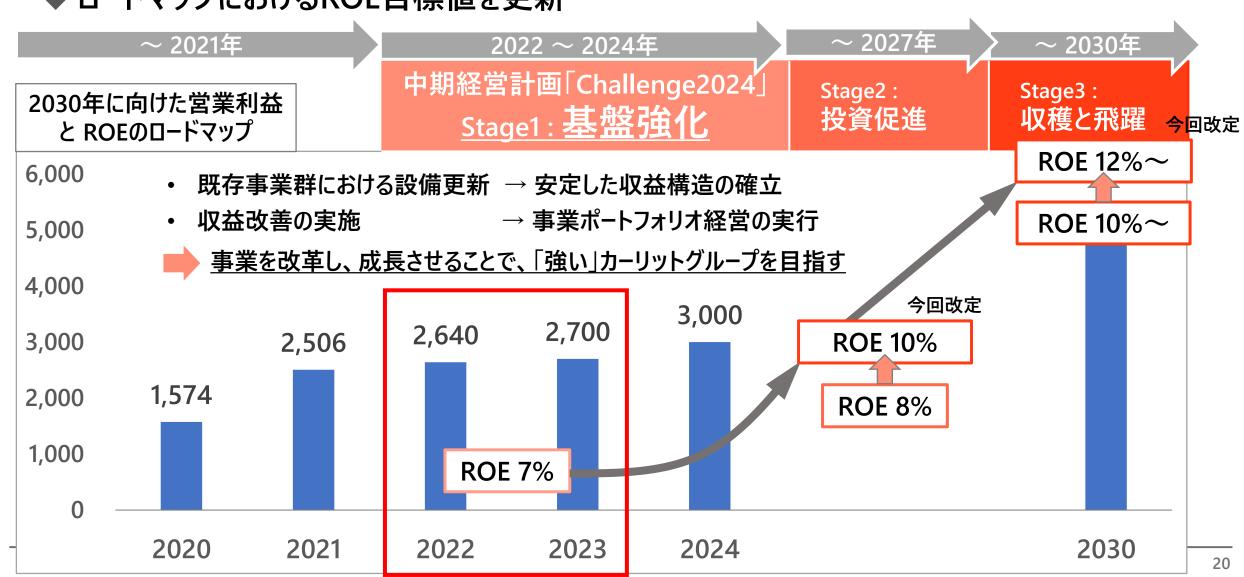
ドライバー 構成要素 検討事項 具体的な取組み 資本負債構成見直し 中期経営計画のローリング 最適資本構成 値上徹底による低採算事業縮小 成長戦略策定・見直し 資本コスト 知的資本投資 / 生產設備增強 事業ポートフォリオ経営 $(\ \mathbf{r}\)\ {\Downarrow}$ (研究拠点整備/工場のイノベーション) **PER** 成長期待醸成 M&A·子会社統合 (自然資本·脱炭素·生物多様性) 成長率 サステナブルな製品の開発拡充 (人的·知的·社会関係 資本) (g) 👚 非財務戦略 人的資本投資:人事制度改革 (ESG) (ガバナンス高度化) 各要素を踏まえ 管理部門統合 / 迅速な意思決定 戦略的に対応

IR·SR戦略強化

「ありたい姿」に向けた '22~'23年度の位置づけ



◆ ロードマップにおけるROE目標値を更新



『3%』を『3つ』に分けて



◆ カーリットグループ営業利益率 7%→10% を目指して

2023年度グループ経営方針

中期経営計画「Challenge2024」達成のため 「改革と成長」による営業利益率 +3%~ の実現

✓ アップデートテーマ 1

価値創造の加速化

利益確保と収益性改善

ノンコア・アセットの整理推進

✓ アップデートテーマ 2

ESG経営の高度化

人的資本経営の高度化

脱炭素に向けた取り組み

<u>注力·育成領域投資</u> へ +1% <u>株主還元</u> へ +1% <u>人的資本投資(社員還元)</u> へ +1%

ローリングプラン2023では、3% 増やした利益を、3等分して使うことを目指す

IRに関するお問合せ先



カーリットホールディングス株式会社 経営企画部 広報・サステナビリティ推進室 メール: pr@carlit.co.jp

信頼と限りなき挑戦



無限の可能性をカタチに